

【令和6年度事業報告書】

総括的概要

※枠内は事業計画

人口減少は経済活動だけではなくすべての社会基盤を危うくする。

この危機を回避するため、倉吉市や倉吉商工会議所中心に、オール倉吉による倉吉ならではの取り組みによる「**倉吉の人口を増やす**」ことに全力投球する。

■事業報告

1 元気な企業、まちの活性化

- (1) コロナ禍を克服する企業の支援事業推進
- (2) 中心市街地活性化基本計画推進
- (3) 空き家・空き店舗対策の官民一体となったワンストップ組織構築
- (4) 事業再構築・承継等支援
- (5) 倉吉の人口を増やすための賃金アップ

(1) 国・県・市の各種施策を一覧にまとめたものや、個別の施策チラシを会報に折込んで会員に情報発信を行い、相談窓口となり事業者の支援を行うとともに、各関係機関と連携を図り対応にあたった。事業者からチラシ等を見ての問い合わせもあった。令和7年度も事業者に役に立つ情報をしっかり届けて支援を行っていく。

(2) 第2期倉吉市中心市街地活性化基本計画の推進をするとともに、第3期基本計画に向けて計画策定を行った。

(3) 空き家相談センタープロジェクトで協議し、令和7年度倉吉市と連携して空き家サポートセンターを設置することになった。

(4) 管内事業者の事業承継を推進するため、倉吉市と金融機関、各支援機関による「倉吉市事業承継ネットワーク」による連携支援の構築を図っている。個別では「鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携して支援を行っているものの、金融機関との連携については、各行で部署を設けて個別に支援している事や個人情報の関係もあり、情報共有、連携が進んでいないのが現状である。令和7年度は、金融機関とも連携の在り方等について検討していく必要がある。

(5) 令和7年4月に行った景気動向調査の付帯調査で賃上げについて調査を行った結果、回答80事業所の内、約7割が賃上げを行ったとの結果であった。

賃上げを行った理由として、「人材確保・定着、モチベーション向上」と回答した事業所が最

も多かった。

2 移住・定住対策、若者定住対策、周知の徹底

- (1) 高校と連携した地元就職対策と周知の徹底
- (2) I、J、U ターン希望の若者への各種補助金の充実と周知の徹底
- (3) 年齢層毎の個別対策の分析、施策展開
- (4) 地元企業への各種補助金の充実と周知の徹底

(1) 高校・大学卒業後の就職活動の参考にしていただくため、倉吉総合産業高等学校の 1 年生、倉吉農業高等学校の 1・2 年生を対象とした倉吉市企業合同説明会を倉吉市と共催で開催した。市内にどのような企業があり、その企業の事業内容を知らない学生が多く、高校入学後の早い段階で市内の企業を知っていただくことで、高校卒業後や大学卒業後に倉吉の企業への就職について考えていただく良い機会となっている。令和 7 年度も倉吉市と協力して本事業に取り組んでいく。

(2) (4) 倉吉市への I、J、U ターンを支援する倉吉市の施策について、当所会報へのチラシ折込みや、各会議において参加者に配布して周知を行った。しかし、倉吉市からは本施策を活用した事業者は少ないと聞いていることから、令和 7 年度も機会をとらえて事業者施策を周知するとともに、その他の施策についてももしっかり情報発信を行っていく。

(3) 未実施

3 倉吉の強みの強化(倉吉と言えば〇〇の確立、周知の徹底)

- (1) 白壁土蔵群、中心市街地、打吹山、伯耆国庁跡は日本の原風景
- (2) 伯桜鵬関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ等は日本一のコンテンツ
- (3) 「今だけ、ここだけ、あなただけ」のきめ細かなもてなしと、三朝温泉をはじめとする周辺温泉や青山剛昌ふるさと館等と連携した広域観光施策
- (4) 関金活性化(温泉、倉吉線廃線跡、里見八犬伝等の日本有数の観光資源の活用)
- (5) 脱炭素先行地域づくり事業の推進
- (6) 財源確保(ふるさと納税、企業版ふるさと納税)

(1)～(4) 具体的には未実施。地方創生 2.0 に観光コンセプト「稼ぐ地域」をめざす観光地魅力創造事業を盛り込んだ。令和 7 年度は事業実施できるよう倉吉市と連携する。

(5) (6) 実施した。

4 県立美術館開館を契機とする地域活性化

- (1) 市内全体で経済循環できる導線の確保(起点施設の整備、情報伝達手段、移動手段、市内複数の駐車場整備、観光もてなし施策等)
- (2) 倉吉市立博物館、円形劇場くらしフィギュアミュージアム、グッドスマイルカンパニー倉吉工場との連携
- (3) 市外からの入込み導線の整備(国道、JR)

(1)～(3) 事業未達成。令和7年度の課題とする。

■主要事業

(1) 元気な企業、まちの活性化、倉吉の強みの強化

〔拡大〕【商談会出展事業】

- ・首都圏や関西、九州での展示会や商談会に出展

会員事業者の首都圏への販路拡大を目指して、FOOD STYLE Japan(10月東京 4社)、Kansai(1月大阪 4社)に出展して支援を行った。出展結果として成約及び成約見込みが33件、その他商談継続中の案件も多数あった。しかし、出展後の事業者の商談対応状況や、その結果について把握できていないという問題がある。

出展後に今後どのような地域で開催される商談会に出展したいのか等についてアンケートを行った。アンケート結果を参考にして令和7年度は商談会の情報を収集して、事業者のニーズに副った地域や内容の商談会に出展し、最後までしっかり事業者の支援を行っていく。

〔新規〕【商品開発・販路開拓支援事業】

- ・新商品開発、既存商品改良、それに伴う展示会出展などの販路開拓支援

倉吉商工会議所商品開発販路開拓補助金を活用して新商品開発、既存商品の改良による展示会出展について6社を支援した。(内、1社は現在事業遂行中)

鳥取県中部商工会産業支援センターと取組む「とっとり中部発信プロジェクト」において、「海外販路開拓セミナー(当所関係1社)」、「Instaguram活用セミナー(当所関係5社)・個別相談会」(BtoC)を開催した。その他、首都圏での販路開拓を希望する事業者(当所関係2社)の商品をバイヤー3社に向けた販路開拓を行い、商品評価やアドバイスを受けてその結果を事業者にフィードバックした。

補助金やセミナー等を受けての成果については確認できておらず、令和7年度は前年度に活用した成果についても確認を行い、しっかり成果を検証していくとともに、今後も事業者の商品開発や販路開拓のための施策やセミナー等について、情報発信を行い事業者へ周知して支援を行っていく。

〔拡大〕【個別相談会実施事業】

- ・インボイス制度導入に係る決算申告相談会、経営課題に対する専門家活用

決算申告相談会 2月～3月開催（4日間：延べ18人）

中国税理士会倉吉支部の協力を得て、小規模事業者の青色申告決算、所得税・消費税確定申告について無料で相談できる場となっており役に立っている。その他、職員も個別で対応している。

令和7年度も引き続き中国税理士会倉吉支部の協力を得て開催するとともに、職員もしっかり対応して取組んでいく。

【制度改正他課題対応に関するセミナー開催事業】

- ・インボイス制度改正、エネルギー・物価高騰・物流問題等

インボイス制度、電子帳簿保存法個別相談会 11月開催（1日：2人）

インボイス制度が導入されて2年目であり、税務署でも説明会等が行われており個別相談会を開催しても希望者が少なかった。令和7年度はインボイス等の税務関係以外の制度改正や事業環境の変化による諸課題の対応に資するセミナーを開催する。

【施策説明会、セミナー・専門家派遣実施事業】

- ・県・市・労働局等の施策説明会、各種セミナー（人材育成支援、生産性向上物価・エネルギー高騰対策、物流問題、経営分析、事業計画策定）

WEBセミナー 4月～3月 総利用者1,040人、総視聴本数：2,270本

新入社員研修 4月開催（2回） 延べ49人参加

県・市等施策説明会 7月開催 20人参加

キャッシュレスセミナー 8月開催 23人参加

個店魅力アップセミナー 10月開催 12人参加

DXセミナー 10月開催 11人参加

物価高騰対策セミナー 11月開催 25人参加

Google ビジネスプロフィール集客・売上アップセミナー 12月開催 17人参加

コンテンツ活用セミナー 12月開催 27人参加

管理職のためのスキルアップセミナー 2月開催 31人参加

賑わいまちづくりセミナー 2月開催 37人参加

専門家派遣 6事業者：延べ12回

参加者へのアンケートでは概ね役に立つ内容であったとの回答をいただいた。事業環境等が変化する中、令和7年度も委託事業や補助金等を活用してAI活用など、事業者の役に立つセミナーを開催する。

〔拡大〕【倉吉まちゼミ開催事業】

9/23 くらよしまちゼミ第1回まちゼミマルシェ開催 来場者約300人 出店(展)15件

第9回くらしよしまちゼミ 令和6年11月5日～12月8日

32店舗・事業所・団体 全41講座開催 受講者数236人

まちゼミマルシェについては、まちゼミの新規出店者、顧客の拡大を図る為令和7年度も継続する。まちゼミについては、若年層の参加、囲い込みをねらい、準備の在り方を工夫、検討する。

【創業支援事業】

・チャレンジショップ、創業セミナー、相談

創業スタートセミナー 6月開催 当所関係3人参加

創業スクール 7月開催（3日間） 当所関係5人参加

セミナー、スクール終了後に個別に創業に向けた支援を行い、概ね創業に至っている。令和7年度は2日間の創業スクールだけの開催となるが、引き続き中部の商工会との共催で開催する。

チャレンジショップ 飲食関係出店可能な工事を行った

1人応募があり令和7年4月オープン

令和7年度に入り1店舗飲食業の出店者が決定した。残り1店舗は空いている状況であるため、引き続き出店募集を行っていく。又当所の創業支援相談窓口強化のため、会館入口と事務所入り口に「スタートアップ・創業相談支援窓口」の看板設置を行い、相談受付体制を整えて創業支援を行っていく。

〔新規〕【Eコマース推進事業】

・電子商取引の推進による企業の売上拡大支援

事業者のEコマース推進を図るためのセミナーは開催していないが、事業者がネット販売等により売上拡大を図っていく計画に対して、国・県等の補助金を説明して補助金申請の計画策定支援を行った。

令和7年度も同様に支援を行っていく。

〔新規〕【デジタル地域通貨推進事業】

・Jcoin実施、デジタル地域通貨導入に向け調査研究

倉吉市が行うJcoin登録事業者チラシを当所会報に折込みして事業の周知に協力した。

キャッシュレスセミナー 8月開催 23人参加

令和7年度は倉吉市のデジタル商品券事業について当所会報にチラシを折込みして事業者等への周知に協力した。当所ではキャッシュレス等を推進するため、リクルートのAirペイやAirレジ等を導入した際に会員限定でキャッシュバックを行う事業を行う。

〔拡大〕【中心市街地活性化事業】

- ・倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業
- ・空き店舗・空き家 Re 活用プロジェクト
のれんの揺れるまちプロジェクト、
フィギュアのまち倉吉を創る会
コンテンツ強化、観光強化
- ・第 3 期中心市街地活性化基本計画検討

- ・倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業は、令和 8 年度オープンに向け工事中。（小川家住宅、旧高田邸）
- ・のれんの揺れるまちプロジェクトは実施済み。（37 店舗、56 枚）
- ・フィギュアコンテンツは例年並みの事業を実施した。
- ・令和 7 年度、「空き家サポートセンター」を設置予定。

〔新規〕【事業承継事業】

- ・地域、業種を絞りアンケート調査、相談支援

アンケート調査については実施できなかった。

倉吉市、市内金融機関、鳥取県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携支援に係る研修会への参加 6・9・12・2 月 4 回参加 / センター定例相談：6 件

当所独自の受付体制強化のため令和 7 年度から会館入口と事務所入り口に「事業承継支援相談窓口」の看板設置を行い、相談受付体制の強化を図る。

（2）移住・定住対策・若者定住対策、周知の徹底

〔拡大〕【県内外求人情報発信事業】

- ・会員事業所の求人募集（新聞、ホームページへの掲載）
- ・高校生を対象とする企業説明会の開催

求人広告新聞折り込み（28,810 部）、当所ホームページ掲載 8 月 33 社

倉吉市企業合同説明会 倉吉総合産業高等学校（1 年生） 11 月・12 月開催 20 社

倉吉農業高等学校（1・2 年生） 3 月開催 21 社

〔新規〕【外国人材活用事業】

- ・企業の人材確保を支援するため外国人の技能実習、特定技能、技術・人文知識・国際業務、介護分野の各制度を活用し、商工会議所が関係機関と連携して取り組む

企業向けセミナー等を開催したが、会議所としてこの課題にどう対応するかの方針が策定できていない。

令和 7 年度に外国人技能実習生のための日本語学習講座を開催予定。（外国人労働者の特定技能 2 号への移行を目的に日本語学習能力向上を目的に実施する。）

〔拡大〕【情報発信推進事業】

- ・伝えたい情報が的確に伝わるホームページへのリニューアル
- ・商工会議所だよりの内容充実
- ・商工会議所メール通信の内容充実と送信回数の拡充
- ・マスコミの積極的な活用

ホームページリニューアルを11月にメーカーと委託契約し、現在ホームページ作成中。会議所内で若手職員を中心としたプロジェクトチームを形成し、効果的かつ効率的な情報発信のあり方を念頭に、ホームページを構築中。(夏頃に公開予定)

- ・商工会議所だよりのメール通信についても改善中。
- ・マスコミの積極的な活用は未達。

（３）県立美術館を契機とする活性化

〔新規〕【鳥取県立美術館盛り上げ事業】

- ・倉吉春まつりと連携して美術館開館1年前を記念するイベント開催
- ・オープンイベント開催
(歓迎ポスター、フラッグ掲揚、スタンプラリー)
- ・アート活用・商品開発セミナー開催

美術館開館1年前イベント(くらよし桜まつり) 4月開催

キャッシュレスセミナー 8月開催 23人参加

個店魅力アップセミナー 10月開催 12人参加

コンテンツ活用セミナー 12月開催 27人参加

賑わいまちづくりセミナー 2月開催 37人参加

鳥取県より予算をいただき、県立美術館開館1年前イベントとして、「くらよし桜まつり」を開催し地域における機運を盛り上げた。又開館をチャンスと捉えて個店の魅力アップ等を図り売上アップに繋げるための取組みを考えるセミナーを開催した。当所の補助金を活用して2事業者が美術館に関連した商品の開発を行った。

令和7年度は県からの予算措置はないが、美術館に関連した商品の開発を行う事業者に対して各種施策を活用して支援を行う。

（４）部会活動の活性化

〔拡大〕

【商業部会】

- ・倉吉まちゼミ開催、AIセミナー、講演会開催
- ・商業部会常任委員会(4月24日、7月9日、12月17日)
- ・AI&ChatGPTセミナー開催(9月11日/18日) 33人参加
- ・第1回まちゼミマルシェ 9月23日 エスパック未来中心アトリウム 約300人
- ・DXセミナー(10月24日) 11人参加
- ・第9回倉吉まちゼミ開催(11月5日～12月8日)
○受講者数 236人(アンケート回答集計分)

- ・まちゼミ先進地視察(愛知県岡崎市) 2月26日/27日 11人参加
 - ・第9回くらしよしまちゼミ実施報告会 3月21日 16人参加
- まちゼミについては、若年層の参加、囲い込みをねらい、準備の在り方を工夫、検討する。

【工業部会】

- ・企業見学会実施、県内商工会議所工業部会正副部会長会議参加
 - ・スーパーGT決勝レース視察(4月14日)
 - ・工業部会常任委員会(7月26日、12月13日)
 - ・県内商工会議所工業部会正副部会長会議への参加(11月27日)
 - ・市内企業見学会&ビジネス交流会開催(開催予定)
- 令和7年度開催予定

【建設業部会】

- ・まちづくり関連事業、講演会開催(まちづくり、空き家対策)
 - ・建設業部会常任委員会
(4月23日、5月10日、8月21日、12月16日、2月4日)
 - ・空き家・空き店舗対策意見交換会開催(6月12日)
 - ・「群言堂・松場大吉前会長」まちづくり講演会開催(6月25日)
 - ・空き家相談センタープロジェクト(7月16日、8月28日)
- 令和7年度に空き家サポートセンターを設置予定

【金融業部会】

- ・次世代経営者向けセミナー・交流会開催、DX先進地視察
 - ・金融業部会常任委員会(5月16日、8月21日、12月17日)
 - ・金融業正副部会長会議(2月12日)
 - ・事業承継対策セミナー開催(7月4日)
 - ・DX先進地視察/徳島県神山町NP0 グリーンバレー(11月19日~20日)
- 令和7年度に創業、若者向けのセミナーを開催予定

【観光交通部会】

- ・全国商工会議所観光振興大会参加(長崎県)
講演会開催(地域の活性化に寄与した講師)
 - ・観光交通部会常任委員会(5月10日、8月29日、12月12日)
 - ・まちづくり先進地視察/茨城県結城市(11月9日~10日)
 - ・全国商工会議所観光振興大会 in 長崎への参加(1月28日~30日)
- 令和7年度観光振興に関する視察やセミナーを開催予定

【庶業部会】

- ・講演会、チャットGPTセミナー開催

- ・ Chat GPT活用術セミナー開催（４月１５日）
- ・ 庶業部会正副部会長会議（５月２７日、１１月１３日、３月７日）
- ・ 庶業部会常任委員会（８月２７日、１２月１０日）
- ・ 歴史講談&講演会開催（８月２７日）
- ・ Chat GPT研修会開催（１０月２日）
- ・ 金融セミナー（１２月１０日）
- ・ 事業承継セミナー開催（１月２１日）

→倉吉市の振興に繋がるセミナーを令和７年度開催予定

【令和６年度収支決算書】

会計名	本年度決算額	本年度予算額	比較増減
一般会計	84,030	75,138	8,892
中小企業相談所特別会計	98,999	100,539	△1,540
共済事業特別会計	75,658	83,641	△7,983
労働保険事務組合特別会計	3,482	3,151	331
会館管理運営特別会計	13,021	13,153	△132
中心市街地活性化事業特別会計	10,113	9,698	415
合計	285,303	285,320	△17

（単位：千円）